

主日礼拝

1部 AM.08:40 司会：平岡謙

2部 AM.10:40 司会：野口千代次 (受付：青年部)

2018.01.14

賛美	一	同
信仰告白 主の祈り	一	同
聖書箇所第I列王 3:4~15	司	会者
説教	「知恵の心を求める」	1部	金エリヤ先生
		2部	金エリヤ先生
献金祈禱 ①伊達恵子 ②藤原喜美子	代	表者
献金賛美	一	同
報告	司	会者
歓迎	新	来者
祝福の祈り	説	教者
賛美	一	同
祝禱	説	教者

今週の奉仕者・司会		礼拝奉仕	
01/17	水曜礼拝 野口千代次	献金祈禱	小坂能輝
01/19	金曜礼拝 野口千代次	献金祈禱	井上拓枝
01/21	主日1部礼拝 柿添清一	青	年
01/21	主日2部礼拝 野間満		

今週の御言葉

	早	天	家庭礼拝
01月14日 (日)	I テサロニケ 04	/	第I列王 03:04~15
01月15日 (月)	I テサロニケ 05	/	I テサロニケ 05:21~23
01月16日 (火)	II テサロニケ 01	/	II テサロニケ 01:11
01月17日 (水)	II テサロニケ 02	/	II テサロニケ 02:16~17
01月18日 (木)	II テサロニケ 03	/	II テサロニケ 03:03
01月19日 (金)	I テモテ 01	/	I テモテ 01:15~16
01月20日 (土)	I テモテ 02	/	I テモテ 02:01

荒野には、罪の問題や環境・人間関係・死の問題がありました。神さまが「わたしのために聖所を造るなら、わたしは彼らの中に住む。」(出エジプト記25:8)と幕屋を造りなさいと言われました。荒野の問題は幕屋に住んでくださる方によってすべて解決されます。

1. 神さまは幕屋を建てなさいと言われます。

幕屋に住むとは、神さまが永遠の御座を捨ててこの地上に来られ、そこに住んでくださることです。御言葉が人間となって来られて主の栄光、父ひとり子の栄光だと言われます。「主の栄光が幕屋に満ちた。モーセは会見の天幕にはいることができなかつた。雲がその上にとどまり、主の栄光が幕屋に満ちていたからである。」(本文34~35節)主が、来られたことを意味します。荒野には幕屋、ソロモンにはソロモン神殿、後に第2の神殿「イエスは彼らに答えて言われた。『この神殿をこわしてみなさい。わたしは、三日でそれを建てよう。』そこでユダヤ人たちは言った。『この神殿を建てるのに四十六年かかりました。』「イエスはお自分のからだの神殿のことを言われたのである。」(ヨハネ2:19~21)イエスさまは死んで3日目によみがえられ神の御座に座っておられ、イエスさまが私たちに御座を送ってくださいました。「あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられることを知らないのですか。」(第1コリント3:16)神殿が建てられた時、栄光を受けられたイエスさまが、私たちのうちに入ってくださいます。

2. 御言葉を祈って私たちのうちに神殿を建てる。

御言葉が人間となって来られた方がイエスさまです。御言葉を祈ると御霊が私たちのうちに幕屋であるイエスキリストを建ててくださいます。幕屋で祭壇、イエスキリストの十字架が流された洗盤(赦しの意味)で手足を洗い、聖所の御言葉に飢え渇いて御言葉を切に求め祈ると御言葉が私たちの心に刻まれます。あわれみは主のもの。主にあわれみの心を求めると主があわれみの心を刻んでくださり、至聖所であわれみの御座の場所へと導いてくださいます。イエスさまの血潮は私の義、イエスさまの血潮は永遠の命、イエスさまの血潮はよみがえりです。罪の問題や環境・人間関係・病い・死の問題が、幕屋の至聖所ですべて主が解決してくださいます。

3. 人間の本能的な主張をすべて捨て御霊の思い、主の願いに従順していくことです。

主の前で謙りくだりひざまずいて祈る、主に心から感謝し賛美すると主が私たちに雲の柱、火の柱で良き道へと導いてくださいます。「ヤイロという人が来た。この人は会堂管理者であった。彼はイエスの足もとにひれ伏して自分の家に来ていただきたいと願った。」(ルカ8:41)私もイエスさまの願いであるイスラエルに行き、エチオピア系ユダヤ人たちを助け祝福するために、この教会で主の恵みで集められた献金を運ぶように雲の柱、火の柱で主が導き大いに祝福してくださいます。主が願うところに私たちが従順していくと、これが、イエスさまの人格へと創り変えられていきます。私たちがいつも主の願いである祈り、御言葉に飢え渇いて聖書を読み、霊と真を尽くしてイエスさまを心から礼拝する、人をあわれみ赦す、すべてに感謝し、主に従順するとイエスさまが雲の柱、火の柱ですべてを良き道へと導いてくださいます。